

旭 農

## PTA ニュース

編集  
発行

北海道旭川農業高等学校PTA事務局

2025年12月22日  
(令和7年度)  
No.151

## クラブ後援会長より

クラブ後援会長

岸山 尚弘

旭川農業高  
校農業クラブ  
後援会会長と  
して、日頃よ  
り本校の教育  
活動ならびに  
農業クラブの

取り組みに、温かいご理解とご支援を賜っております保護者の皆さま、地域の皆さまに心より御礼申し上げます。

本校の農業クラブ活動は、生徒が主体的に学び、挑戦し、地域社会に貢献していく貴重な機会となっております。今年度も各種プロジェクト活動や意見発表、競技会への参加、さらには地域連携事業など、多彩な取り組みが展開され、生徒たちは確かな成長を見せられました。とりわけ、生徒同士が互いの強みを認め合い、協力しながら成果をつくり上げていく姿には、頼もしさと将来への

大きな可能性を感じています。

農業を取り巻く環境は大きく変化していますが、こうした変化の中で、新たな価値を創り出す力を育むことがその農業教育の役割であり、その学びの中心に農業クラブ活動があると思います。後援会としても、生徒が安心して挑戦できる環境を整え、

## 温かなご支援に

## 支えられた一年

校長 赤穂 悦生



今年二十日に初雪が観測され、季節の移ろいを感じるとともに、今年一年を振り返る時期となり、学校農場も冬支度に入りました。今年も生徒一人ひとりが多くの学びや経験を重ね、実り多い一年となりました。これもひとえに、保護

活動の一つひとつを支え続けてまいります。

今後とも、保護者の皆さま、地域の皆さまと手を携え、旭川農業高校の生徒たちの夢と可能性を後押ししていければ幸いです。引き続き、温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

者の皆さま、地域の皆さま、そしてPTAの皆さまの温かいご支援とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

農業クラブ活動では、代表生徒が全国大会(西関東)に出場し、プロジェクト発表部門で見事全国優秀賞という素晴らしい成果を収めました。惜しくも全国制覇には一步届きませんでした。また、地域課題の解決を目指し、日々の実習や研究に真摯に取り組んできた努力が高く評価された結果です。発表を終えた生徒たちは「自分たちの地域や農業の未来を見つめ直すきっかけになった」と語っており、順位を超えた貴重な経験を得ることができました。この成果は、全校生徒の励みとなり、「次は自分たちが」という意欲が高まっています。

います。

また、学校農場では、春から手塩にかけて育ててきた作物や花、加工品などの収穫が進み、恒例の「農業高校収穫祭」をイオン北海道旭川西店で開催しました。多くの地域の皆さまやPTAの方々にもご来場いただき、生徒たちは、自らの学びの成果を直接お客様に届ける喜びを実感しました。販売や接客を通して、お客様の声に耳を傾けることで、作物づくりだけでなく「人に伝える力」「地域とつながる力」も育まれています。事故や大きなトラブルもなく、生徒たちは責任をもって準備から運営までをやり遂げました。こうした行事を安全かつ円滑に進められたのも、日頃からご理解とご支援をいただいたいるPTAの皆さまのお力添えの賜物です。

一方で、三年生は進路実現に向けて懸命に努力を重ねており、就職・進学ともに順調に内定をいただいています。夏の求人票公開以降、企業や大学・専門学校からの申し込みは「本校生のまじめさや礼儀正しき、最後までやり抜く力を評価している」との声を多くいただきました。農業高校で培った「実践を通して学ぶ力」は、どの分野でも高く評価される資質です。社会に巣立つ生徒たちが、それぞれの進路先で本校の誇りを胸に、新たな一歩を踏み出してくれることを願っています。

今年もPTAの皆さまには、学校行事の運営補助や広報活動、農産物販売会での協力など、数えきれないほどの支えをいただいております。皆さまの温かいまなざしとご理解が、生徒たちの学びの背中を押してくださっています。心より御礼申し

## 令和7年度

生徒会役員及び  
農業クラブ役員

## ■新生徒会役員

|         |            |
|---------|------------|
| 会長      | 渋谷 瑚白 (2L) |
| 副会長     | 土門 千夏 (2L) |
| 副会長     | 箭内 結来 (2M) |
| 書記      | 高橋 桐生 (2F) |
| 書記      | 後藤 彩那 (1A) |
| 会計      | 九軒 怜央 (2F) |
| 会計      | 菅野 真希 (1F) |
| 監査      | 佐藤 葵 (2F)  |
| 監査      | 最條 奈月 (1M) |
| 監査      | 佐藤 愛優 (1M) |
| 保健安全委員長 | 佐藤 稟子 (1L) |
| 風紀委員長   | 玉置 あゆ (1M) |



▲生徒会執行部



▲農業クラブ執行部

## ■新農業クラブ役員

|     |            |
|-----|------------|
| 会長  | 松田 光稀 (2A) |
| 副会長 | 香西 結月 (2M) |
| 副会長 | 村椿ここみ (2M) |
| 書記  | 大沼 尚央 (2L) |
| 書記  | 佐藤 慈恋 (2F) |
| 会計  | 中島 歩夢 (2F) |
| 会計  | 成田 絢音 (1L) |
| 監査  | 妻沼 奏利 (1F) |
| 監査  | 入江 光輝 (1M) |
| 監査  | 田井萌乃香 (1A) |

全国農業クラブ学校大会  
鑑定競技部門全国に行ってみて  
の感想

三年F組 長原 壮汰

私は山梨県で開催された、全国農業クラブ学校大会、鑑定競技部門に出場してきました。三年間初めての全国大会出場で競技の一日前からもう緊張していました。一日前に食べたいという味はいまでも思い出す



ことができません。そして迎えた競技当日、とても緊張したまま競技会場の山梨農林高校に足を踏み入れました。緊張しながらも待機部屋で勉強をしながら待ち、ついに競技会場へと呼ばれました。とても緊張感の中、開始を告げるブザーがなりました。問題はさすが全国といった感じで過去の全国大会の過去問よりさらにレベルアップした問題が出題されました。北海道にはない樹木の問題がたくさん出題されましたが、しっかりと対策したこともあり、解くことができました。結果は優秀賞、最優秀賞はとることができませんでした。嬉しさと悔しさが両方こみ上げた瞬間でした。

全国大会では努力することの大切さを学ぶことができました。もう鑑定競技にできることはありませんが、この経験を今後に生かしていきたいと思っています。

令和七年度  
旭川農業高校  
PTA役員研修会

令和七年十一月十四日（金）、第二回PTA・クラブ後援会役員会終了後に本校を会場に令和七年度旭川農業高校PTA研修会が次の通り実施されました。

- ・農業科学科…ジャガイモの科学
- ・食品科学科…食品加工体験（アイスクリーム製造）
- ・森林科学科…木工体験（100均DIY 小物入れ）



・生活科学科…ホルケキーデコレーション製造体験

PTA研修会は保護者の皆様方が体験する学科を選び参加いただきました。普段、専門授業で学び身につけた技術を、生徒たちが講師となり参加者に伝えるという形式で研修を行いました。次年度も是非、多くの方々にご参加いただき、生徒たちの学びの深さや各学科の特徴等にふれていただければと思います。

見学旅行を  
振り返って森林科学科二年  
武市 志優

私たち二年生は、十月五日から九日にかけて関西方面への見学旅行に行ってきました。そして、清水寺などの有名な場所を巡ったり、USJで楽しんだり、大阪関西万博で見聞を広められたことで、普段の日常では触れることや見ることでできない特別な時間を過ごすことができました。

学年全体で訪れた清水寺では、古くからの建築技術や景色の美しさに感動しました。とくに、清水寺の舞台から見た京都の街並みは、教科書や写真で見たものよりも壮大で、昔の人が守ってきた文化を肌で感じる事ができました。また、自主研修で行った伏見稲荷大社や渡月橋、竹林の小径、錦市場など、それぞれ違った迫力や幻想的な雰囲気、何より京文化を存分に味わうことができ、とても印象に残りました。

大阪での自主研修では、USJはもちろん楽しかったのですが、今年限りの大阪関西万博に行けたことがとても良い経験となりました。会場全体が未来的な雰囲気包まれており、最新の技術や世界中の展示を見て、これからの社会や環境について考えるきっかけとなりました。とくに、各国のパビリオンでは文化の違いや技術の進歩を実感することができたと同時に、世界の広さを実感することができました。どの展示も工



夫がすぐくて、見ているだけでワクワクしました。大屋根リングをはじめて見たとき木のぬくもりを感じるとともに、その大きさと形に圧倒されました。

五日間という短い時間でしたが、たくさん新しい発見をすることができました。何より、友人との絆、クラスとの絆を深められたことは大切な思い出となりました。単なる旅行ではなく、学びを深め、絆を深め、自分自身を見つめ直す機会にもなりました。これからもこの経験を生かして、もっともっと多くのことを学び、成長していきたいと思っています。さいごに、今回の見学旅行でお世話になりました先生方をはじめ、添乗員の方、カメラマンの方、地元の方々に感謝でいっぱい입니다。ありがとうございました。



# 文化部活動報告

## 演劇部部长

農業科学科三年

片岡明日香



今年度も、まずは五月に劇団氷点華に参加しました。他校の演劇部員と協力し、総勢五十人を超える規模で昨年に引き続きクオリティーの高い劇を創ることができました。七月には、一・二年生による旭農祭公演を行いました。初舞台となる一年生を二年生が引っ張っていく様子が三年生は感動しました。最後は九月の高文連です。夏休みから台本をみんなで考え、劇を創



▲演劇部 高文連場面写真

作しました。あと一步のところで全道出場を逃しましたが、昨年に引き続き優秀賞を取ることができました。これまで頑張ってきた仲間と親身に協力していただいた先生、そして日頃から支えていただいたいる保護者の皆様のおかげです。来年度も演劇部を応援して下さい！

## 書道部部长

食品科学科三年

遠藤 杏珠



今年度の書道部は新入生三名が新たに加わり、一年生三名、二年生二名、三年生一名の計六名で活動しています。今年度の上川支部高文連大会は旭川南高校が当番校として開催されました。他校の書道部員の作品を鑑賞したり、お互いの作品を批評し合ったりなど充実した



▲書道部 全道大会鉚路

高文連では当番校として事前の準備から当日の運営まで大変なことも多かったですが、その分終わったあとの達成感や部員内での団結力が強まり、良い経験になりました。手伝って頂いた部局の方々や先生方、本当にありがとうございました。また、コンクール旭川地区予選ではゴールド金賞を頂くことができました。この経験を活かし、来年こそは更なる高みへ行けるよう、日々練習に励みます。

## 茶道部部长

食品科学科二年

佐藤かん菜



私たち茶道部は現在、二年生八名で活動しています。今年度から外部講師の先生と顧問の先生が変わり戸惑うこともありましたが、みんなで協力して活動することができました。毎年行っている旭農祭でのお茶会は二年生が主体となつて運営しました。前年度の講師の先生や顧問の先生、校長先生を始め多くの本校の先生方にも来ていただきとても充実したお茶会になりました。また、昨年度同様一般のお客様にもたくさん来ていただけて緊張しつつも日々の練習の成果を発揮することができ、来

年に向けてさらに改善することなどを考える良いお茶会になったと思います。また、今年は十月の護国神社での茶道部研修会など学校外で活動する機会が少ない1年だったため、来年こそは校外でも積極的に活動していきたいと思っています。

## 写真部部长

食品科学科三年

尾子 瑞季

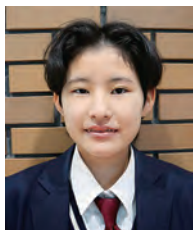


今年度行われた高文連上川支部大会では、入賞者一名という結果となりました。が全体でみて、よい作品が多かったと感じていたので少し残念な結果に終わりました。特に農業高校の特色を活かし「生き物」や「農場の風景」を撮影した作品が多く見られたことはよかったと感じています。今年度の活動はほとんどが学校行事の記録写真の撮影でしたので来年度はより良い活動ができるよう期待します。最後に応援や撮影協力をいただいた家族・友人・先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。感謝の気持ちを忘れずにこれからもたくさんさんの素敵な写真をとり続けていきたいです。

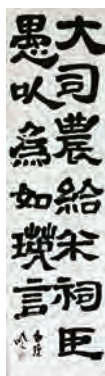
## 吹奏楽部部长

森林科学科二年

猪狩 圭映



前年度に引き続き、今年度も高文連、吹奏楽祭、吹奏楽コンクール旭川地区予選に出場しました。



▶高文連上川支部特選作品

食品科学科3年

遠藤杏珠



▶高文連上川支部特選作品

食品科学科1年

入江光輝

## 美術部部長

農業科学科三年

八木橋琴音



今年の美術部は、一年生が八人入部してくれて去年よりも更に賑やかになりました。最初は

部長として上手く引張っていかねか不安でした。ですが、皆で知識を出し合い、部員のみんなが支えてくれたおかげで様々な行事を終えることが出来ました。

高文連では、三年生三名、二年生四名、一年生八名の計十五名が参加し、四名が佳作を獲得できました。私自身も佳作を獲得できたことを嬉しく思っています。大会では、クロッキー研修など去年にはなかった活動がありました。それを通して、より部員達の技術や創作意欲の向上に繋がりました。

来年もみんなで協力しながら、仲良く頑張りたいと思います。



▶美術部 高文連入賞作品  
農業科学科三年 八木橋琴音

次こそ全道大会進出を期待しています。

## 自然科学部部長

森林科学科三年

赤間 紅愛



私たちは自然科学部は現在、三年生三人、二年生三人、一年生三人で活動しています。今年の

の研究テーマを新たに決めるため、今後どのような研究をしていきたいかを部員全員で話し合いを重ねました。

現在は、オオクワガタの幼虫と成虫を飼育しており、マットを自作して生育を進めています。今年は、新たにマイマイカブリやハリガネムシの生態観察、校内の人工芝で植生調査を実施しました。生態観察は、うまく飼育ができず課題が残るところもありましたが、生態的特徴を理解することができました。植生調査では、調査を実施したことによって、外来種が増加していることを確認することができました。

来年はこれまでの活動で得たことを生かし、良い結果につながられるようにしてほしいです。

## 放送局局長

食品科学科三年

ウイルコック ニーナ



放送局では、昼休みに一〇分間の放送を行っています。話題の曲やリクエストを頂いた曲

を流し自分たちでプレイリストと原稿を作り、学校にいるみなさんに明るい放送をお届けしています。

また、五月にあるNHK放送コンテストと十月にある高文連放送コンテストに参加しています。大会では、脚本、撮影、編集を事前に自分たちで行い披露する番組部門、個人で出場するアナウンス部門などに参加します。今年のNHK杯では、新入局員を増やす工夫として展示ブースを開設したことをテーマに発表した研究発表部門で全道四位に入賞しました。

今後、より多くの人に私たちの放送を楽しんでもらえるよう、日々の活動と大会出場に力を入れていきます。

## 図書局副局長

農業科学科二年

尾崎 泰地



私たちは図書局の一、二年生は、九月二十五日・二十六日に行われた高文連第四十七回全道高等

学校図書研究大会（上川大会）に参加しました。

一日目は、主に「トーグランプリ」（図書館活動グランプリ）の発表を参観しました。その後の記念講演では、ノンフィクション作家である片野ゆかさんの「取材は毛だらけ！ー動物ノンフィクションが映像化されるまでー」というテーマの講演を聴きました。ノンフィクション映画の裏側や動物についても学ぶことのできる良い機会でした。

二日目は分科会と表彰式が行われました。私は井上靖記念館「作家井上を知る」という見学ツアーに参加しました。旭川にゆかりのある作家、井上靖について深く知ることができ、とても興味深かったです。

今大会は上川大会ということで、私たちも大会運営のお手伝いをしました。他校の生徒とも交流でき、楽しく、有意義な二日間でした。この経験を今後の図書局の活動に活かしていこうと思います。

## ボランティア局局长

農業科学科三年

板垣虎士朗



今年度は春先から局員数が増加し、現在二十四名で活動しています。主な活動は例年同様、

入学式前の校外清掃から始まり、その後は外部からボランティア依頼が届く都度、内容を局員全員で確認し、それぞれの希望に応じてボランティアに出かけてきました。

今年度のボランティアで印象的だったのは八月二十四日に開催された「水縁日々水で遊ぶう」ボランティアです。当日は気温も上がり、暑い中、水遊びを楽しむ親子連れと一緒に水浸しになって大変な一日でしたが、すごくやりがいを感じた一日になりました。

今後、時間も許す限りボランティアに参加し、スキルアップしていきたいと思います。

